

主催：北海学園大学開発研究所
函館湾岸価値創造プロジェクト（GRHABIP）
後援：函館市

参加
申し込み



特別講座 & 函館地域課題検討会議

都市観光における 地域交通の役割 を見直す

北海道で最も人口減少が多い函館市は、少子高齢化とコロナ禍の影響でインフラの維持が難しくなっています。特に、市電やバスなど地域公共交通の存続が重要な課題です。一方で、自治体ブランドランキングや地域ブランド調査で1位に選ばれるなど、都市のブランド力は高く観光客の利用が増え、地域公共交通にとって地元利用者の減少を補う一方で、負担にもなっています。この状況を踏まえ、函館の現状と他の事例を比較し、地域交通と都市観光の関係を再考し、人口減少時代における観光の役割を問い直します。

日時：2025年1月10日（金）14～17時半

場所：Gスクエア イベントスペースB

第1部：特別講座「都市観光における公共交通機関の役割と意義」

藤田 知也（北海学園大学経済学部准教授）

第2部：（仮称）函館地域課題検討会議

藤田知也（上掲）、最明仁（日本観光振興協会理事長）、高井暁（函館市観光部次長）、永澤大樹（函館商工会議所中小企業相談所長）、古地順一郎（北海道教育大学函館校）、佐藤大輔（北海学園大学地域連携推進機構・教授）、池ノ上真一（北海商科大学観光産業学科長・教授）、千葉里美（北海商科大学准教授）、布村重樹（函館湾岸価値創造プロジェクト会長）

お問い合わせは

函館湾岸価値創造プロジェクト info@grhabip.jp